

# 新簡易牛舎における繁殖雌牛の周年放牧技術の確立 (H28~30年度)

## 現状と課題

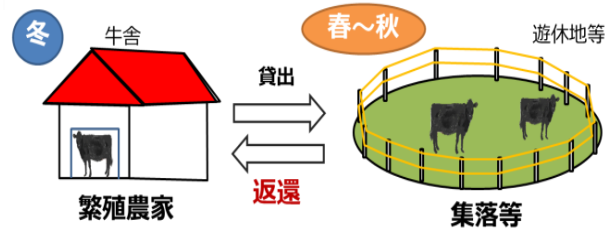
### ・県内繁殖農家戸数・頭数が減少

22戸 (H22) → 18戸 (H26)  
350頭 (H22) → 204頭 (H26)

### ・季節放牧による繁殖雌牛の放牧が増加

放牧実績: 頭数47頭、18ヶ所 (H27)

### 本県での繁殖雌牛の放牧



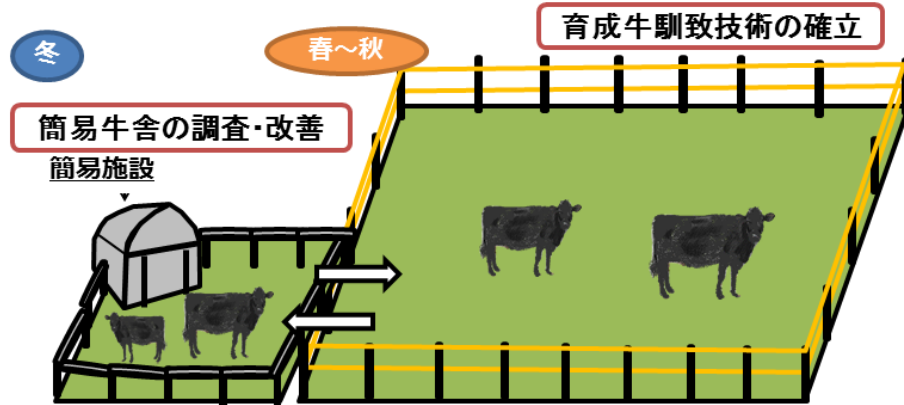
牛舎建設費が高いため、農家数・飼養頭数は増加しない。

## 目標

・簡易牛舎での周年放牧技術を用いた新規繁殖農家の開拓

## 試験内容

### 周年放牧イメージ図



### 子牛の飼養管理技術の確立

候補地: 転作田 (営農集団)  
遊休地等 (中山間地域)

### 福井県での周年放牧技術の確立

- 1、簡易牛舎による育成雌牛の放牧馴致、子牛の飼養管理
- 2、簡易牛舎の耐候性、保温対策、舎内環境の調査、改善
- 3、周年放牧飼養管理マニュアルの作成

## 結果

- 1、舎飼い子牛と同等の育成成績
- 2、多積雪湿雪地帯用低コスト簡易施設の開発 (200万円 → 90万円以下)

## 期待される成果

- ・新規飼養戸数20戸増加
- ・繁殖雌牛飼養頭数 204頭 (H26) → 244頭
- ・子牛販売額 40頭 × 60万円 = 2,400万円